

保護者の皆様へ

芦城中学校 学びの道しるべ

小松市立芦城中学校

令和6年4月18日に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果について以下のとおり、お知らせします。

1. 全国学力・学習状況調査結果（本校と石川県・全国との正答率の比較）

	石川県	全国
国語	平均並み	上回る
数学	やや下回る	上回る

全国との比較においては、国語・数学ともに上回る結果となりました。県との比較においては、国語は平均並み、数学は県をやや下回る結果となりました。本校の特徴として、説明したり、表現したりする記述式の設問において課題が見られます。

2. 設問ごとの良好なもの（◎）と課題となるもの（△）

国語
<p>◎「体言止め」など、表現技法の名前と特徴について理解し、文章のどの部分に使われているか、見つけることができました。</p> <p>◎話し合いの話題や発言を踏まえて、他者の発言と結び付けて自分の考えを書くことができました。</p> <p>△豊かな言語表現を用い、表現の効果を考えて描写することに課題が見られました。表現技法等については知識として理解していても、それを実際の自分の文章にねらいをもって活用することができていない生徒がいました。これらのことを踏まえ、表現技法等については、表現の効果を全体で共有し描写できるよう、授業場面等で提案していきます。</p> <p>△資料を用いて、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現することに課題が見られました。図で示された内容を正しく理解し、話し合いの中での発言と適切に結びつけることができていない状況が見られました。普段から複数の資料から読み取ることや複数の条件から自分の考えをまとめる機会を増やしていきます。</p>
数学
<p>◎nを整数とするとき、連続する二つの偶数を、それぞれnを用いた式で表す問題は比較的よくできていました。繰り返し学習したことが、知識として定着していると考えられます。今後も引き続き、授業や家庭学習等の場面を利用し、繰り返し学習を意図的に行っていきます。</p> <p>◎正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に具体的な数を入れた場合の□の値を求める問題については、正答率が高かったです。初見の問題にもかかわらず、問題の読み取りを正しく行うことができました。</p> <p>△式変形を利用して説明する問題において、式変形の技能についての理解は、ある程度進んでいるものの、式変形を行う意味についての説明が不十分で課題が見られました。式変形の学習を含む「式による説明」の単元（2年・3年での学習）では、式変形の技能の習得のみにとどまらず、式変形を行う理由や思考を深めるための適切な例示の工夫を図ります。</p> <p>△確率の基本的な問題（2枚10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも裏が出る確率を求める）の正答率が低く、基礎・基本の定着に課題が見られました。基礎・基本の定着を図ることができるよう、授業や家庭学習等の場面を利用し、定期的に繰り返し学習する機会を設けます。</p>

3. 質問紙調査の結果から良好なもの(◎)と課題となるもの(△)

- ◎「自分には良いところがある」、「人の役に立つ人間になりたい」と答えている生徒の割合が高いです。
- ◎「自分と違う意見について考えるのは楽しい」、「自分の考えを発表する機会で、自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表している」と答えている生徒の割合が高いです。
- ◎「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と答えている生徒の割合が高いです。
- △「将来の夢や目標を持っている」、「地域や社会を良くするために何かしたい」と答えている生徒の割合が低いです。
- △「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりしている」と答えている生徒の割合が低いです。
- △「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている」と答えている生徒の割合が低いです。

4. 全国学力・学習状況調査、質問紙調査の結果を踏まえた取組について

学校での取組

基礎基本の定着に向けて

- ・各学年の学習状況に応じて、家庭学習の充実を図る取組を行っています。
(週末課題の取組 等)
- ・朝学習におけるタブレット端末の活用、タブレット端末の持ち帰り学習の充実を図ります。

活用力の向上に向けて

- ・授業では、根拠をもとに自分の考えを話したり、書いたりして伝える力を育成していきます。
- ・授業のまとめ・振り返りの場を充実させ、学びの自覚化につなげます。
- ・意見の交流や調べ学習の場面などにおいて、タブレット端末を積極的に活用した授業実践に努めます。

集団づくりの充実に向けて

- ・生徒会や学年リーダー会主体で、学年の枠を越えた縦割り活動の取組の充実を図り、他学年とのつながりを深めます。
- ・学校行事では、生徒が達成感や充実感を味わえるよう、一人ひとりが活躍できる場面の設定に努めます。
- ・生徒が将来の夢や目標を持ち、地域や社会に積極的に貢献できるよう、特別活動や総合的な学習の時間の取組を通して、キャリア教育の充実を図ります。
- ・絆づくりや人間関係を深めるために、終礼時におけるアシトーク(クラス内での話し合い活動)の取組を内容を精選して継続的にを行います。

ご家庭にお願いしたいこと

- ・起床・就寝時刻や家庭学習の開始時間、食事等、規則正しい生活習慣と学習習慣の形成に向けた支援へのご協力をお願いします。
- ・親子の会話の時間をつくりましょう。頑張りを褒めたり、話を聞いてあげたりするだけで生徒は安心感や安定感を得ることができます。
- ・インターネットやゲームについては、ご家庭でルールを決めて、節度を持たせて使用させるようにしましょう。

